

「元気で健幸なえびの市づくり計画（素案）」に対するご意見募集の結果について

「元気で健幸なえびの市づくり計画（素案）」について令和5年12月20日（水曜日）から令和6年1月22日（月曜日）までの間、市ホームページなどを通じて皆様からのご意見を募集しました。

その結果、1名の方から6件のご意見をいただきました。貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。いただきましたご意見の要旨及びそれに対する市の考え方につきましては、以下のとおりです。

番号	該当ページ	該当箇所・項目等	ご意見の要旨	市の考え方
1	45	第2章 7 (1) 食事 イ えびの市における生活の状況と生活習慣病	図の右下にある「フレイル」と書かれた楕円形が、「腎不全 虚血性心疾患 脳血管疾患」からの矢印で表示されており、腎不全等がフレイルの原因だと誤解される図になっています。フレイルは、もっと幅広い概念なので正しい表記が必要だと思えます。	ご指摘のとおりで、誤解される図となっておりますので、重症化した状態が栄養状態や身体活動・運動の低下、社会活動の低下につながりやすいことで、フレイルの原因の一つになるという表現に修正いたします。
2	47	第2章 7 (2) 運動習慣 ア 市民意識調査結果	「よって、運動だけでなく、趣味を延長とした同好会などに属することで、人との交流が一生に渡り可能となるよう、新たに創設することが重要と考えます。」と書かれていますが、何を新たに創設するのか分かりません。	ご指摘のとおり「新たに」を「新たな人との交流を」に改めます。
3	75～107	第3章 健康(幸)の増進の推進に関する基本的な方向	第2章で分析した「えびの市の現状と課題」の各項目で抽出した課題が、第3章以降に的確に反映出来てはいないのではないのでしょうか。	第3章については、国の示した健康日本21(第3次)の各項目において取り組む内容と、これらに対する第6次えびの市総合計画において、本市が現在取り組んでいる施策を棚卸したも

			<p>抽出した課題の対策として検討した結果が、第3章にまとめられたのではなく、今まで行ってきたことを第3章としてまとめたように見受けられ、残念です。</p> <p>一例をあげると、74ページの下3行に「また、社会活動を行うに際し、必要となる移動手段として、主にクルマに依存しなければならない本市においては、少しでも長くクルマの運転ができる健康な身体を維持できるように、個々が認識し、取り組むことが重要となります。」と書かれています。</p> <p>しかし、第3章以降に、「クルマの運転ができる健康な身体を維持」するために何に取り組むのか記載されていません。</p> <p>79ページに記載されている「身体活動・運動」の所が該当するのかもしれませんが、第2章との関連付けが分からない構成になっています。</p>	<p>のになります。ご指摘の課題に対する対策等については、第4章以降に記載をさせていただいております。</p> <p>ご察しのとおり、市民の方が「身体活動・運動」により健康を維持し、フレイル予防に取り組むことで、心身の健幸を感じ、社会活動に対して、前向きに取り組めるものと考えております。</p>
4	101	<p>第3章</p> <p>4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり</p>	<p>「ライフコースアプローチ」という言葉は一般的に分かりづらいので使わない方が良いと思います。</p> <p>国の施策の中で「ライフコースアプローチ」という言葉が使われていますが、市が策定する「基本的な方向」では、分かりやすい言葉、</p>	<p>分かりやすい表現を追記いたします。</p>

			例えば「赤ちゃんから老年期までの各段階での疾病予防」などに置き換える方が望ましいと思います。	
5	115	第4章 7 医療費の抑制 (適正受診)の効果	<p>「市民のみなさんが取り組むこと」として、市民一人あたりの医療費月額マイナス 5,000円できた時の効果額が試算されていますが、これでは市民に「病院に行くな」と言っているように感じられるのではないのでしょうか。</p> <p>えびの市で医療費が高額になる理由を分析し、その改善策を検討し市民に幅広く啓蒙することで、市民の医療費を低減するという政策を検討すべきだと思いますが、高額医療費の責任を市民に転嫁するかのよう感じます。</p> <p>市民に医療費低減をしましょうというのは筋が違うのではないのでしょうか。</p> <p>具体的には、えびの市では高血圧の人が多というデータがあります。減塩を以前から呼びかけていますが、実際には各家庭や飲食店での減塩が定着していないのが実態だと思われま。その実態を把握したうえで、どのように減塩を定着していくかを政策として市民に提案していただきたい。</p> <p>例えば、高血圧の治療を受けている人が居</p>	「市民のみなさんが取り組むこと」として、重症化予防や自己負担の軽減を目指す取組に繋げるため、適切な受診の内容に修正いたします。

			<p>る家庭に塩分濃度計を配布し、各家庭で料理の塩分濃度を把握し、減塩を徹底していただくことなどが考えられます。</p> <p>また、医療費抑制の効果を示したいのであれば、過去の1年間に病院にかかったことのある市民の皆さんが1,000円/年 抑制できれば、総額でいくらになるかを示す程度で良いのではないのでしょうか。月額マイナス 5,000円という額も抑制目標額としては大きすぎるように思います。</p>	
6	116～126	第5章 市が重点的に今後取り組むこと	<p>「第5章 市が重点的に今後取り組むこと」の各項目が抽出された背景又は理由が分かりません。どの項目も重要な内容なので実行することに異議はありませんが、「元気で健幸なえびの市づくり計画」として取り組む理由を、第2章と関連付けて分かりやすく記載する方が良いように思います。</p>	<p>第2章については、市民意識調査の結果を分析し、その内容を記載しております。第5章については、関連する所属と連携し、計画策定に努めるように国から示されていることから、6項目からの構成となっているところで</p>